

令和 5 年度 第 3 回市政モニターアンケート
安全安心街づくりに関する意識調査報告書

令和 6 年 3 月

仙台市市民局生活安全安心部市民生活課

1 調査目的

仙台市安全安心街づくり基本計画（第4期，令和3～7年度）における成果目標として、「防犯活動に参加又は参加意欲のある市民の増加」（令和7年度時点で「防犯活動に参加又は参加意欲がある」と回答する市民の割合が60%以上）を掲げており、市政モニターアンケートを通じて、市民意識を調査する。

2 調査対象

令和5年度市政モニター 397名

3 調査時期

令和5年11月29日（水）から令和5年12月15日（金）まで

4 調査実施方法

郵送回収及びインターネットによる無記名式調査

5 回収結果

有効回答票 358（回答率 90.2%）

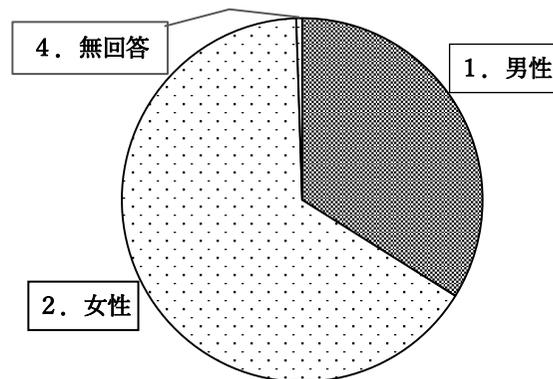
6 集計結果の留意事項

- ・複数の選択肢を選択する問いの回答割合は、設問項目毎の回答数を有効回答者数（n）で除したものとしている。
- ・集計結果の数値を小数点以下第2位で四捨五入しているため、割合の合計が100%とならないことがある。
- ・すべての方が一つを選択する問いで、回答数の合計が有効回答者数（n）未満の場合は、未回答のケースである。
- ・自由記述については主なものを記載している。なお、句読点や固有名詞は表現を統一するため、回答原文の表現を一部修正している。

7 調査結果

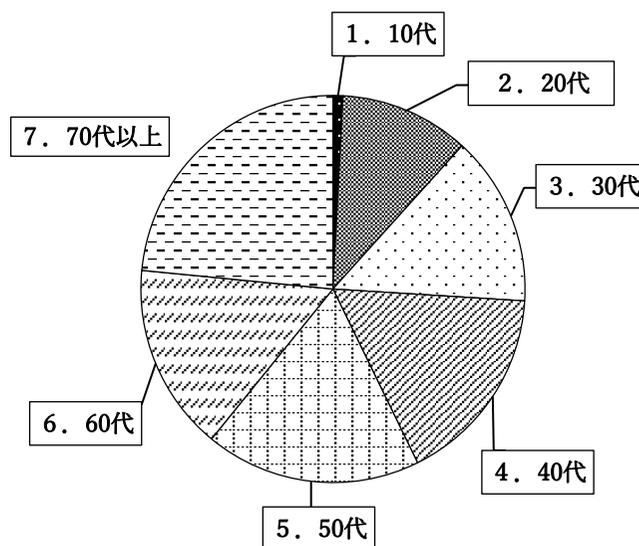
問1 あなたの性別を教えてください。(n=358)

選択肢	回答数	割合
1. 男性	123	34.4%
2. 女性	234	65.4%
3. その他	0	0%
4. 無回答	1	0.3%
合計	358	



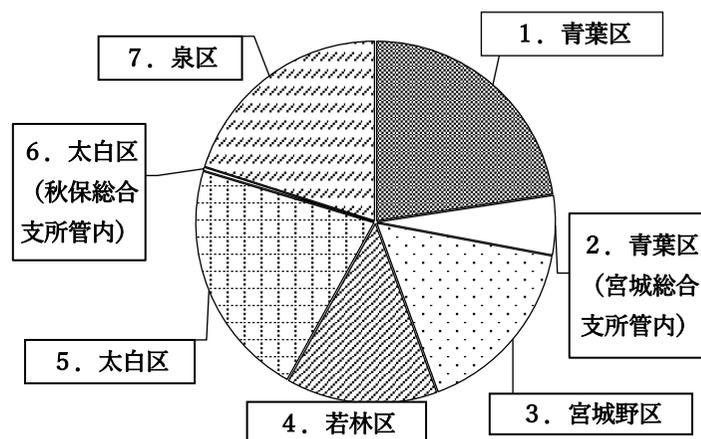
問2 あなたの年齢を教えてください。(n=358)

選択肢	回答数	割合
1. 10代	3	0.8%
2. 20代	39	10.9%
3. 30代	51	14.2%
4. 40代	60	16.8%
5. 50代	65	18.2%
6. 60代	56	15.6%
7. 70代以上	84	23.5%
合計	358	



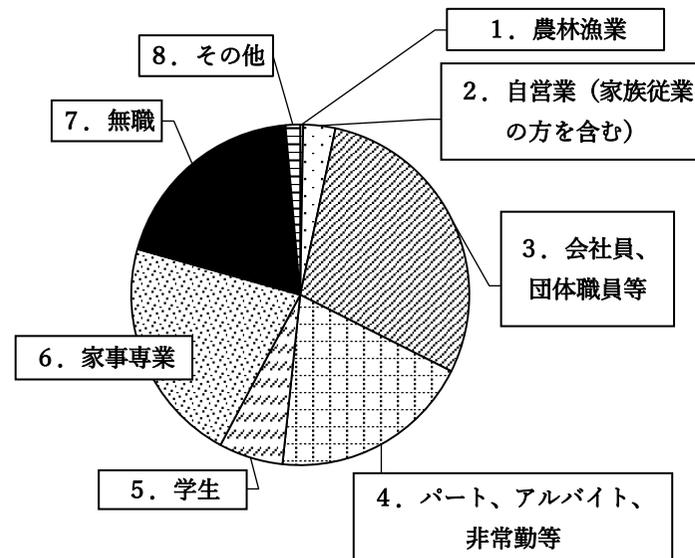
問3 あなたの居住区を教えてください。(n=358)

選択肢	回答数	割合
1. 青葉区	81	22.6%
2. 宮城総合支所管内	19	5.3%
3. 宮城野区	59	16.5%
4. 若林区	49	13.7%
5. 太白区	77	21.5%
6. 秋保総合支所管内	1	0.3%
7. 泉区	72	20.1%
合計	358	



問4 あなたの職業等を教えてください。(n=358)

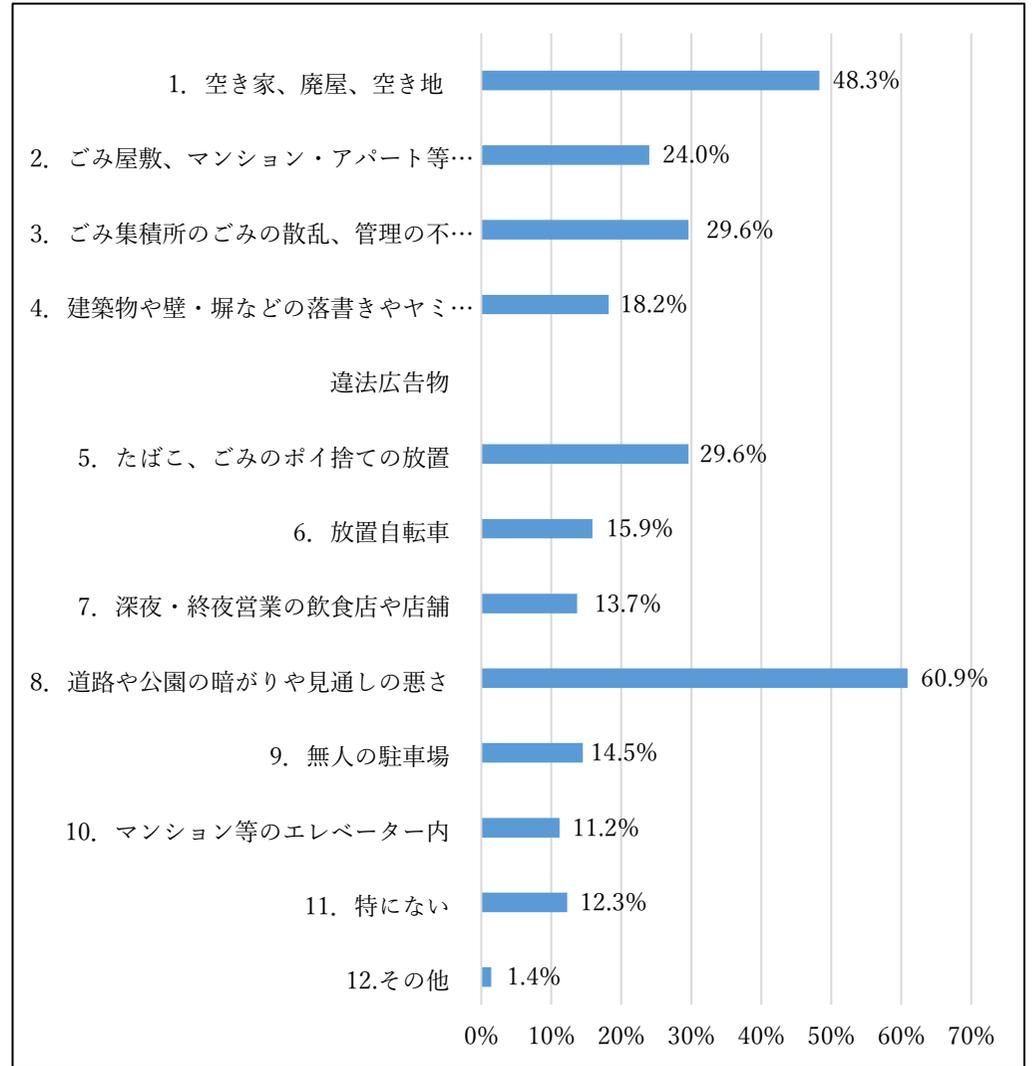
選択肢	回答数	割合
1. 農林漁業	1	0.3%
2. 自営業 (家族従業の方を含む)	11	3.1%
3. 会社員、団体職員等	104	29.1%
4. パート、アルバイト、 非常勤等	69	19.3%
5. 学生	22	6.1%
6. 家事専業	77	21.5%
7. 無職	69	19.3%
8. その他	5	1.4%
合計	358	



問8 あなたのお住まいの地域で、犯罪の発生を招くものとして不安に感じているものは、次のうちどれですか。
 (あてはまる番号すべてに○) (n=358)

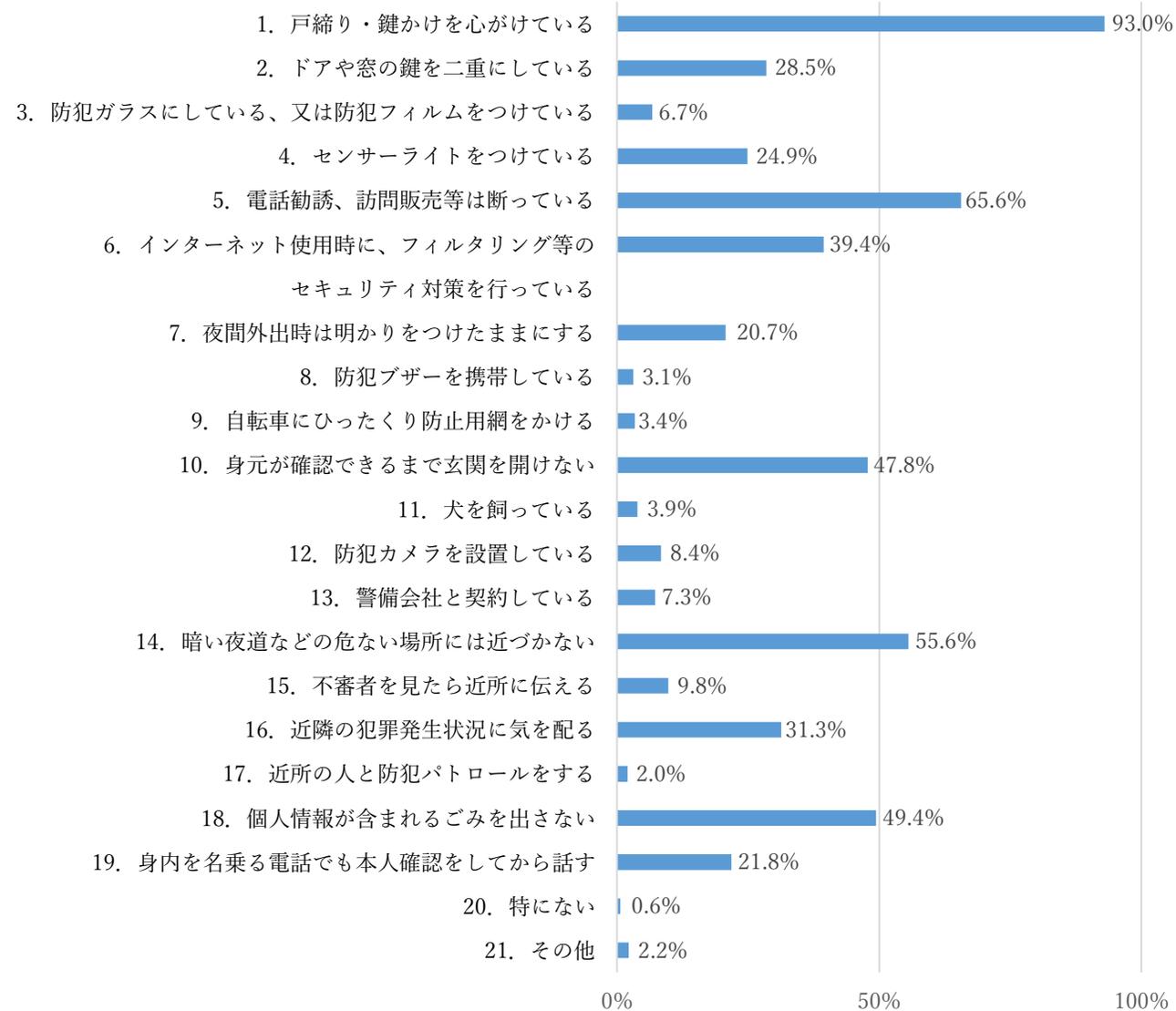
選択肢	回答数	割合
1. 空き家、廃屋、空き地	173	48.3%
2. ごみ屋敷、マンション・アパート等のごみ部屋	86	24.0%
3. ごみ集積所のごみの散乱、管理の不行き届き	106	29.6%
4. 建築物や壁・塀などの落書きやヤミ金融などの違法広告物	65	18.2%
5. たばこ、ごみのポイ捨ての放置	106	29.6%
6. 放置自転車	57	15.9%
7. 深夜・終夜営業(※)の飲食店や店舗	49	13.7%
8. 道路や公園の暗がりや見通しの悪さ	218	60.9%
9. 無人の駐車場	52	14.5%
10. マンション等のエレベーター内	40	11.2%
11. 特にない	44	12.3%
12. その他	5	1.4%

(※) 終夜営業：日没から明け方までの営業



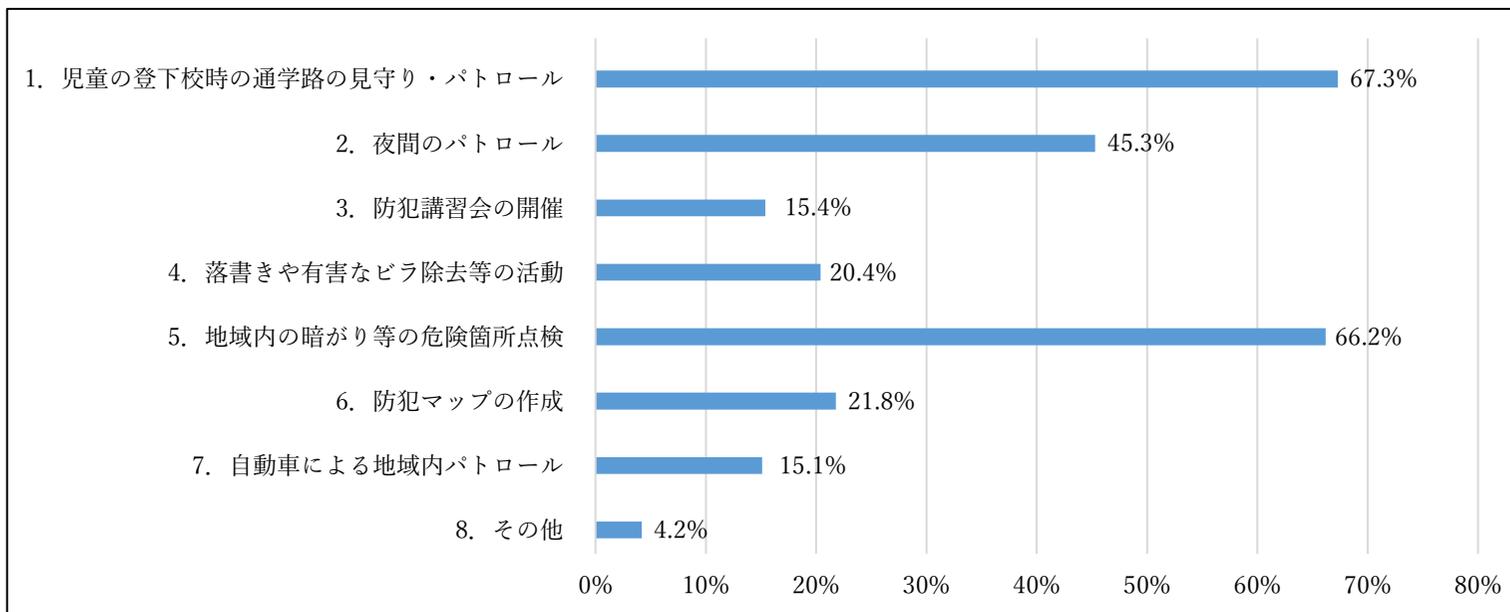
問9 あなたが犯罪被害に遭わないために、日頃から取り組んでいることは次のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○) (n=358)

選択肢	回答数	割合
1. 戸締り・鍵かけを心がけている	333	93.0%
2. ドアや窓の鍵を二重にしている	102	28.5%
3. 防犯ガラスにしている、又は防犯フィルムをつけている	24	6.7%
4. センサーライトをつけている	89	24.9%
5. 電話勧誘、訪問販売等は断っている	235	65.6%
6. インターネット使用時に、フィルタリング等のセキュリティ対策を行っている	141	39.4%
7. 夜間外出時は明かりをつけたままにする	74	20.7%
8. 防犯ブザーを携帯している	11	3.1%
9. 自転車にひたたくり防止用網をかける	12	3.4%
10. 身元が確認できるまで玄関を開けない	171	47.8%
11. 犬を飼っている	14	3.9%
12. 防犯カメラを設置している	30	8.4%
13. 警備会社と契約している	26	7.3%
14. 暗い夜道などの危ない場所には近づかない	199	55.6%
15. 不審者を見たら近所に伝える	35	9.8%
16. 近隣の犯罪発生状況に気を配る	112	31.3%
17. 近所の人と防犯パトロールをする	7	2.0%
18. 個人情報が含まれるごみを出さない	177	49.4%
19. 身内を名乗る電話でも本人確認をしてから話す	78	21.8%
20. 特にない	2	0.6%
21. その他	8	2.2%



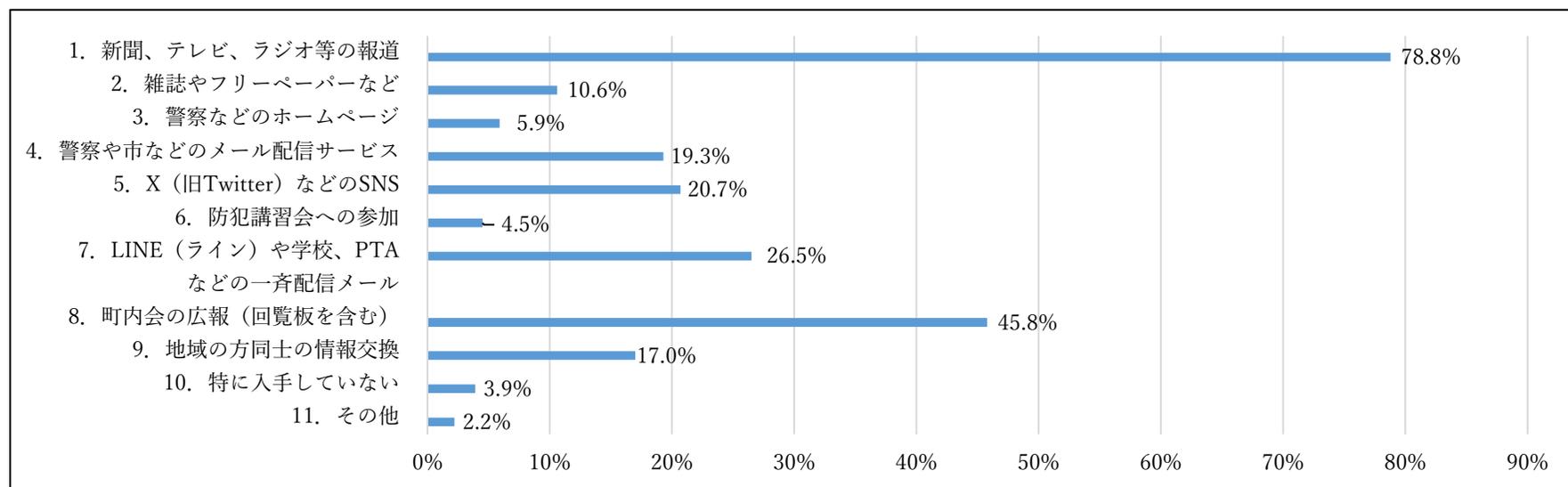
問 10 あなたは、地域の防犯力を高めるために、地域でどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。
 (あてはまる番号3つまでに○) (n=358)

選択肢	回答数	割合
1. 児童の登下校時の通学路の見守り・パトロール	241	67.3%
2. 夜間のパトロール	162	45.3%
3. 防犯講習会の開催	55	15.4%
4. 落書きや有害なビラ除去等の活動	73	20.4%
5. 地域内の暗がり等の危険箇所点検	237	66.2%
6. 防犯マップの作成	78	21.8%
7. 自動車による地域内パトロール	54	15.1%
8. その他	15	4.2%



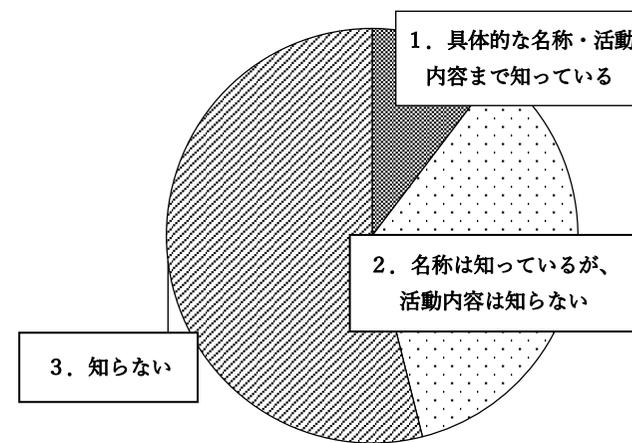
問 11 あなたは、普段どのように防犯に関する情報を入手していますか。(あてはまる番号3つまでに○) (n=358)

選択肢	回答数	割合
1. 新聞、テレビ、ラジオ等の報道	282	78.8%
2. 雑誌やフリーペーパーなど	38	10.6%
3. 警察などのホームページ	21	5.9%
4. 警察や市などのメール配信サービス	69	19.3%
5. X (旧 Twitter) などの SNS	74	20.7%
6. 防犯講習会への参加	16	4.5%
7. LINE (ライン) や学校、PTA などの一斉配信メール	95	26.5%
8. 町内会の広報 (回覧板を含む)	164	45.8%
9. 地域の方同士の情報交換	61	17.0%
10. 特に入手していない	14	3.9%
11. その他	8	2.2%



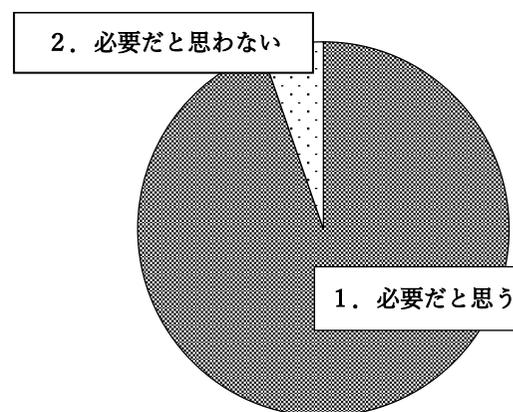
問 12 あなたがお住まいの地域の「防犯協会」という組織を知っていますか。(あてはまる番号 1 つに○) (n=356)

選択肢	回答数	割合
1. 具体的な名称・活動内容まで知っている	37	10.4%
2. 名称は知っているが、活動内容は知らない	127	35.7%
3. 知らない	192	53.9%
合 計	356	



問 13-1 あなたは、地域の防犯活動は必要だと思いますか。(あてはまる番号 1 つに○) (n=356)

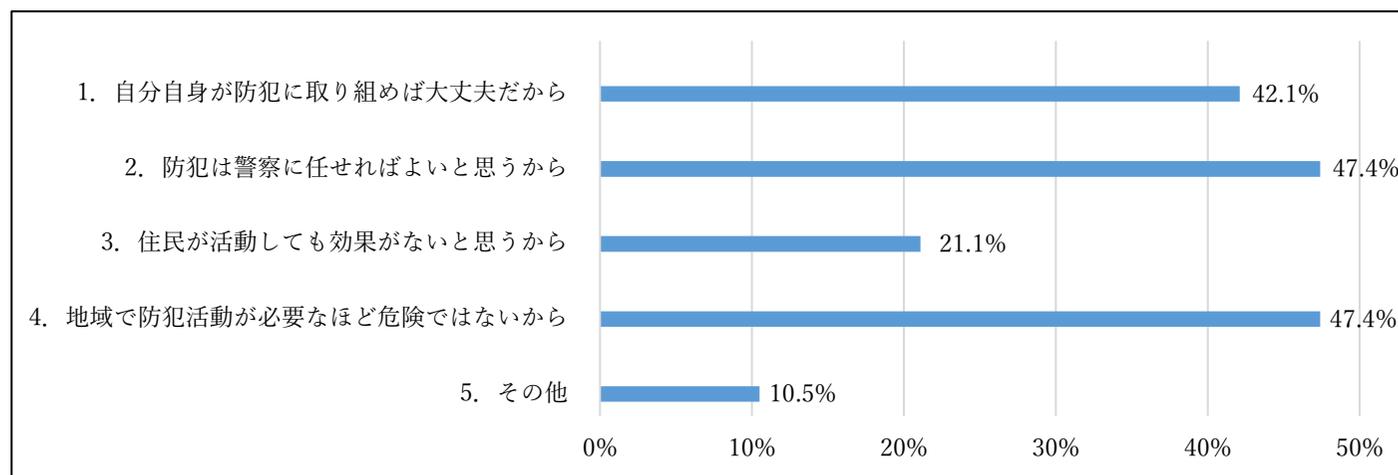
選択肢	回答数	割合
1. 必要だと思う	337	94.7%
2. 必要だと思わない	19	5.3%
合 計	356	



【問 13-1 で「2.必要だと思わない」と答えた方へお尋ねします。】

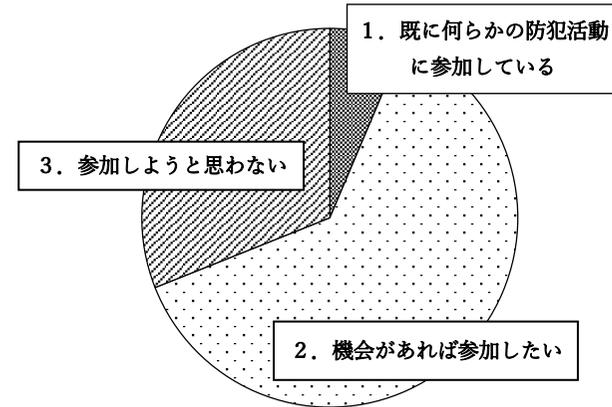
問 13-2 地域の防犯活動が必要だと思わないその理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○) (n=19)

選択肢	回答数	割合
1. 自分自身が防犯に取り組めば大丈夫だから	8	42.1%
2. 防犯は警察に任せればよいと思うから	9	47.4%
3. 住民が活動しても効果がないと思うから	4	21.1%
4. 地域で防犯活動が必要なほど危険ではないから	9	47.4%
5. その他	2	10.5%



問 14-1 あなたは、地域の防犯活動に参加したいと思いますか。(あてはまる番号 1 つに○) (n=358)

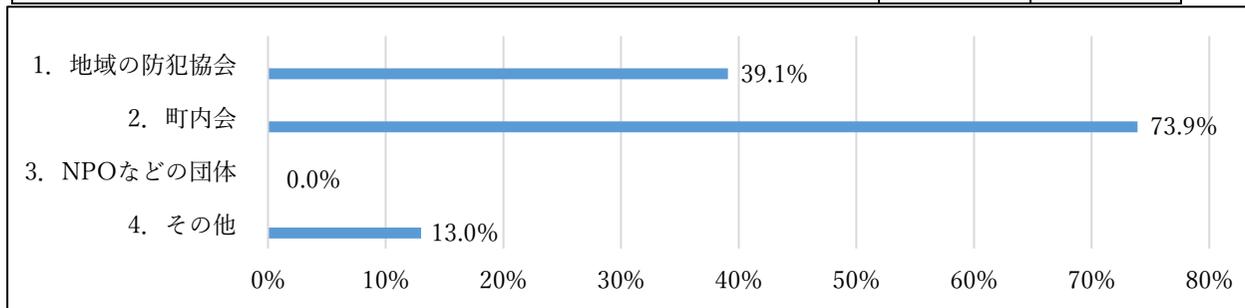
選択肢	回答数	割合
1. 既に何らかの防犯活動に参加している	23	6.4%
2. 機会があれば参加したい	224	62.6%
3. 参加しようと思わない	111	31.0%
合 計	358	



【問 14-2、14-3、14-4 は、問 14-1 で「1. 既に何らかの防犯活動に参加している」と答えた方へおたずねします。】

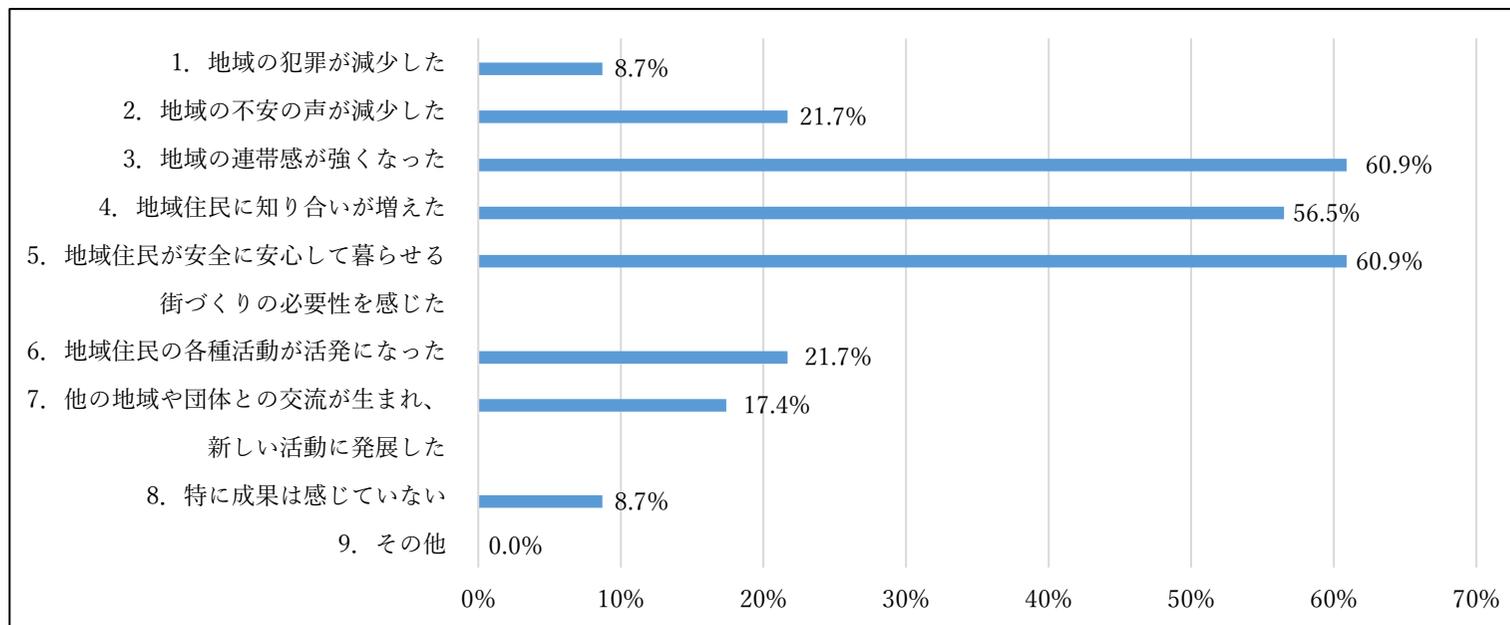
問 14-2 主にどのような団体の防犯活動に参加していますか。(あてはまる番号すべてに○) (n=23)

選択肢	回答数	割合
1. 地域の防犯協会	9	39.1%
2. 町内会	17	73.9%
3. NPO などの団体	0	0%
4. その他	3	13.0%



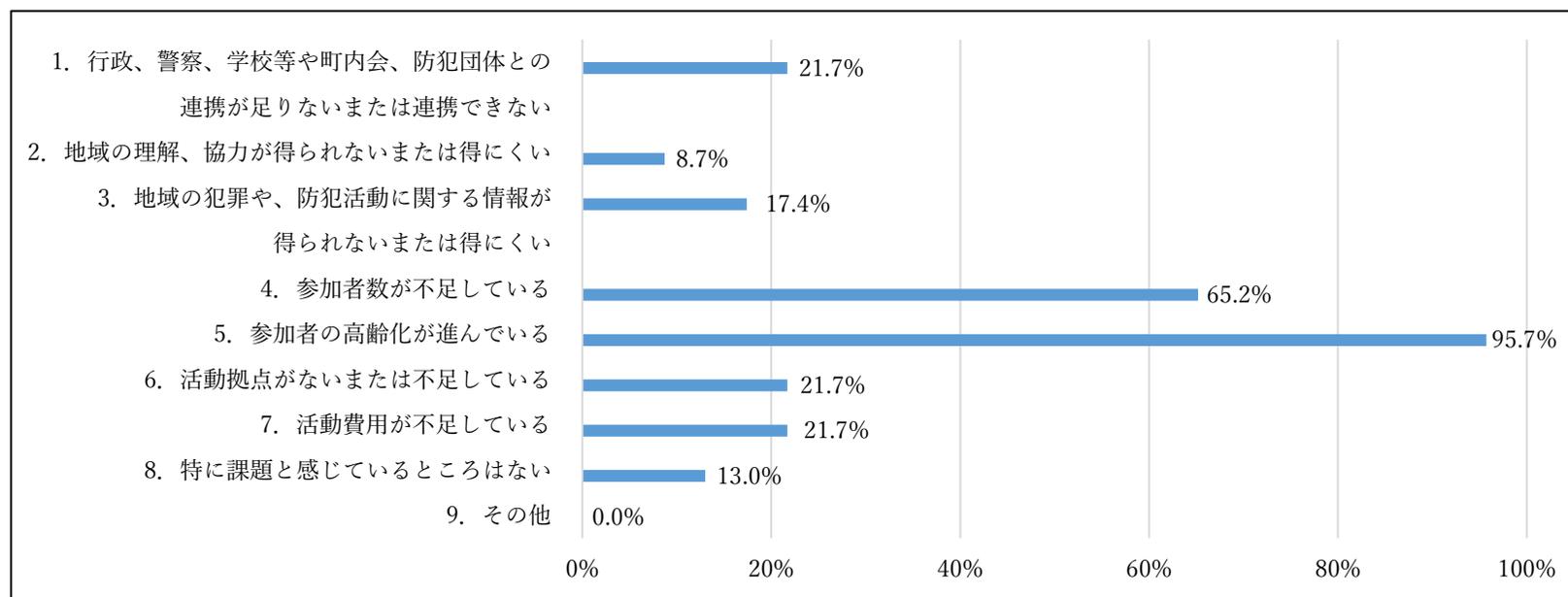
問 14-3 防犯活動に参加してどのような成果があったと感じていますか。(あてはまる番号すべてに○) (n=23)

選択肢	回答数	割合
1. 地域の犯罪が減少した	2	8.7%
2. 地域の不安の声が減少した	5	21.7%
3. 地域の連帯感が強くなった	14	60.9%
4. 地域住民に知り合いが増えた	13	56.5%
5. 地域住民が安全に安心して暮らせる街づくりの必要性を感じた	14	60.9%
6. 地域住民の各種活動が活発になった	5	21.7%
7. 他の地域や団体との交流が生まれ、新しい活動に発展した	4	17.4%
8. 特に成果は感じていない	2	8.7%
9. その他	0	0%



問 14-4 参加してみて感じた、防犯活動の課題をお答えください。(あてはまる番号すべてに○) (n=23)

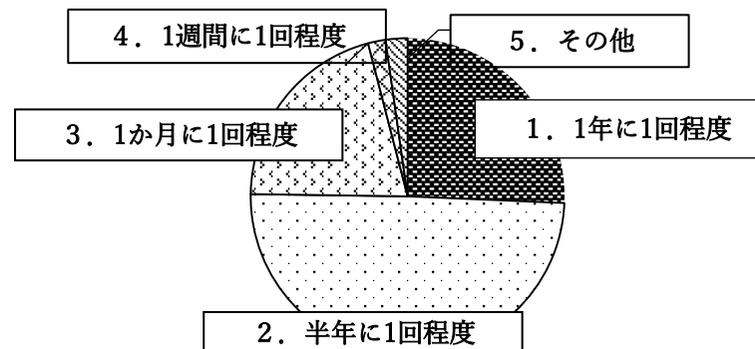
選択肢	回答数	割合
1. 行政、警察、学校等や町内会、防犯団体との連携が足りないまたは連携できない	5	21.7%
2. 地域の理解、協力が得られないまたは得にくい	2	8.7%
3. 地域の犯罪や、防犯活動に関する情報が得られないまたは得にくい	4	17.4%
4. 参加者数が不足している	15	65.2%
5. 参加者の高齢化が進んでいる	22	95.7%
6. 活動拠点が無いまたは不足している	5	21.7%
7. 活動費用が不足している	5	21.7%
8. 特に課題と感じているところはない	3	13.0%
9. その他	0	0%



【問 14-5、14-6 は、問 14-1 で「2. 機会があれば参加したい」と答えた方へおたずねします。】

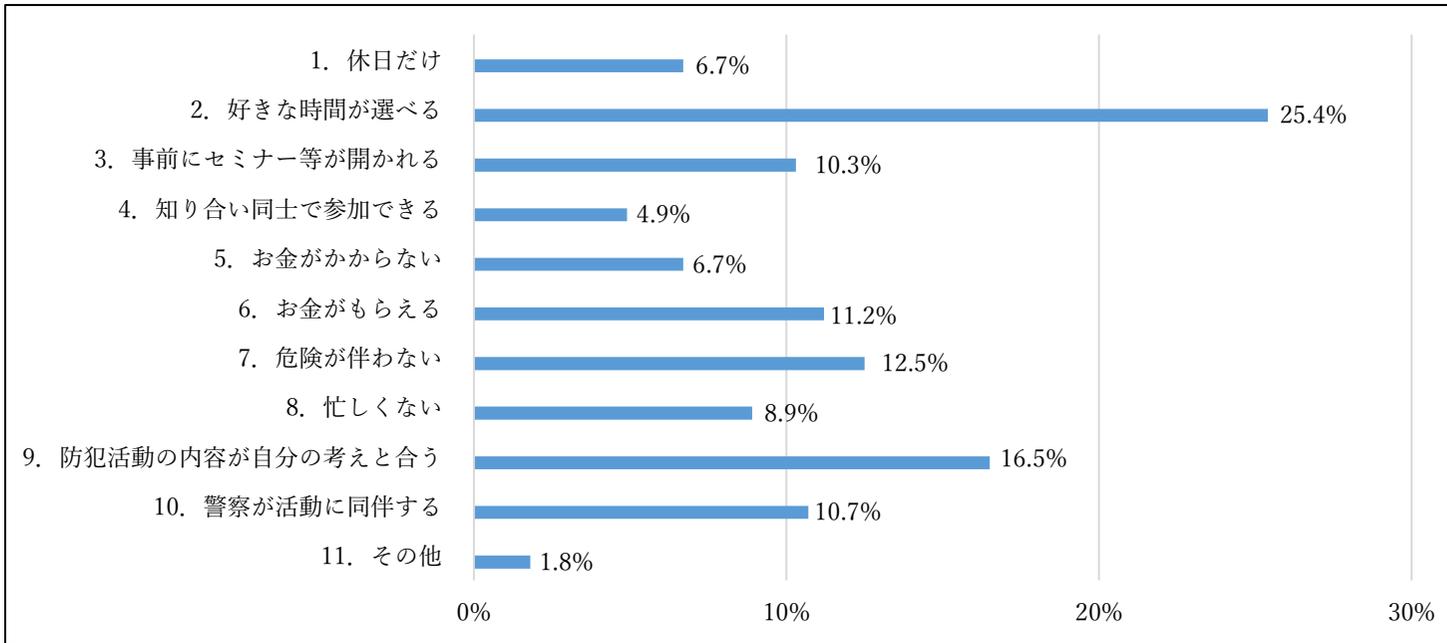
問 14-5 どのような頻度であればあなたの地域の防犯活動に参加したいと思いますか。(あてはまる番号 1 つに○) (n=222)

選択肢	回答数	割合
1. 1年に1回程度	57	25.7%
2. 半年に1回程度	110	49.5%
3. 1か月に1回程度	46	20.7%
4. 1週間に1回程度	4	1.8%
5. その他	5	2.3%
合 計	222	



問 14-6 どのような条件であればあなたの地域の防犯活動に参加したいと思いますか。(あてはまる番号 1 つに○) (n=224)

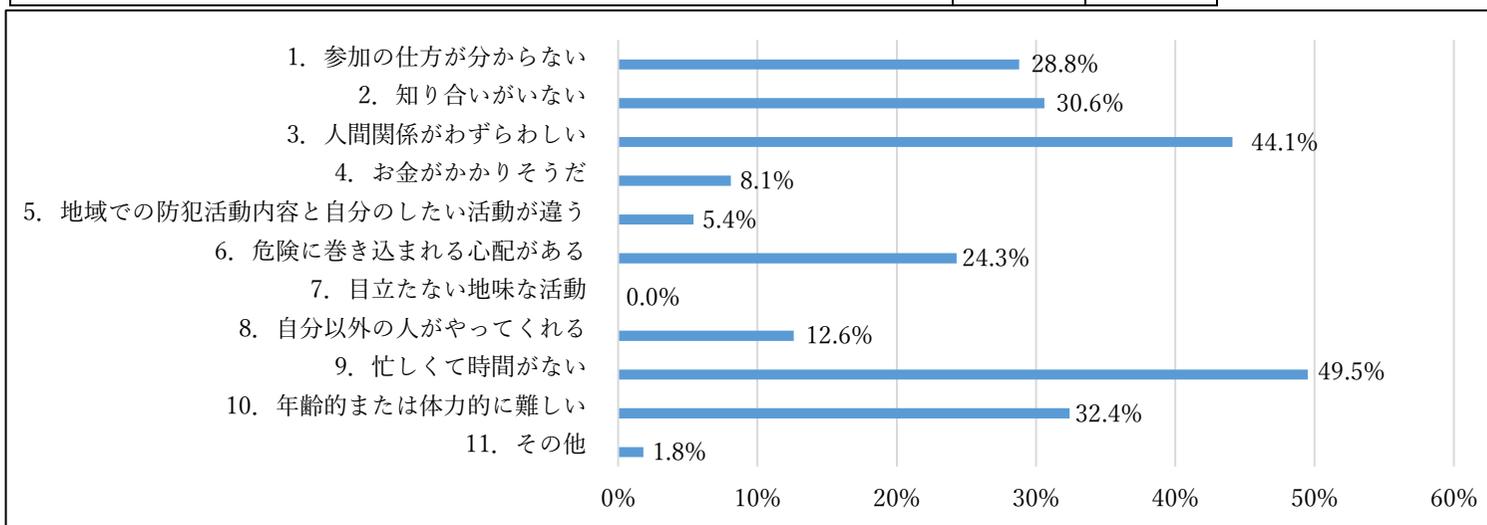
選択肢	回答数	割合
1. 休日だけ	15	6.7%
2. 好きな時間が選べる	57	25.4%
3. 事前にセミナー等が開かれる	23	10.3%
4. 知り合い同士で参加できる	11	4.9%
5. お金がかからない	15	6.7%
6. お金がもらえる	25	11.2%
7. 危険が伴わない	28	12.5%
8. 忙しくない	20	8.9%
9. 防犯活動の内容が自分の考えと合う	37	16.5%
10. 警察が活動に同伴する	24	10.7%
11. その他	4	1.8%



【問 14-1 で「3. 参加しようと思わない」と答えた方へおたずねします。】

問 14-7 参加しようと思わないその理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○) (n=111)

選択肢	回答数	割合
1. 参加の仕方が分からない	32	28.8%
2. 知り合いがいない	34	30.6%
3. 人間関係がわずらわしい	49	44.1%
4. お金がかかりそう	9	8.1%
5. 地域での防犯活動内容と自分のしたい活動が違う	6	5.4%
6. 危険に巻き込まれる心配がある	27	24.3%
7. 目立たない地味な活動	0	0%
8. 自分以外の人がやってくれる	14	12.6%
9. 忙しくて時間がない	55	49.5%
10. 年齢的または体力的に難しい	36	32.4%
11. その他	2	1.8%



問 15 防犯や安全安心街づくりについての意見を、ご自由にご記入ください。

※内容別に分類し、主なものについて以下の通りまとめさせていただきました。今後の業務運営の参考とさせていただきます。

【街灯や防犯カメラの設置に関すること】

- ・地域にセンサーライトや防犯カメラ、カーブミラーを増設してほしい。
- ・住宅地の街灯が少ないように感じる。夕方以降、薄暗くなると住宅街は人通りも少なくなり、ひとり歩きの危険を感じる。もう少し街灯が明るければ、不安が解消されると思う。
- ・深夜の一人歩きをするときに必ず防犯カメラの前を通り、なるべく暗がりの道を通らないようにする。灯りがあると安心するので電灯を増やしてほしい。
- ・街灯がLEDになってから、その下は明るいですが、離れると暗く、夜道は怖く感じます。電気料金が安くなる分、LEDをもっと多く取り付けてほしいものです。

【警察によるパトロールや見守り活動に関すること】

- ・先日、数年ぶりに交番の方が巡回に来て、家庭状況、周りの様子を聴き取りに来ました。どんな犯罪が起きているのかや、対処方法を直接聞くことができ良かったです。このような巡回を定期的に実施していただけると有難いです。
- ・警察や地域の方が「パトロールしています」というポーズがあるだけでも防犯につながると考えます。今住んでいる地域の周辺に学校が何校かあるため、特に必要だと思えます。
- ・アパートの多い所に住んでいますし、パチンコ店も有りとても不安です。警察のパトロールカーでの見回りをして頂きたいと思えます。
- ・近隣の通学路の規制(通行時間や方向など)のマップを配布してほしいです。
細い道路でも速い車や横断歩道で停まらない車が多いので、パトカーの巡回を増やしていただけると良いと思えます。

【町内会や地域との連携、コミュニケーションの強化に関すること】

- ・町内会の顔見知りを増やすためにも、お祭りや行事は行うべき。
- ・干渉されすぎでは困りますが、近隣に住む方々のことをある程度理解できていることが安全に生活する上で重要かと考えます。そのことで、危険なことや不安なことの情報共有もできますし、犯罪に巻きこまれる予防につながると思えます。

- ・防犯は基本的には家族でお互いに協力して対策していくものと思いますが、隣近所や班内、町内会で共有していくことも必要だと思います。防犯と近隣モラル、交通安全なども全て同一同根だと思しますので、ぜひ行政と町内会、個人で連携できるようにしていきたいと思っております。
- ・地域の人を知ること、お互いに声をかけあうことが大事だと思う。
- ・犯罪や危険行為はないに越したことはないが、無くすことは難しいかもしれない。小学校の通学路で交通安全を行なっている様子を見る。私自身もおかげさまで安全に生活できている。地域に知り合いがいなかったため参加できずにいるが、地域の方々の活動に助けられていると感じる。
- ・子どもがいなくなかなか地域の情報を知ることができず、又、私自身が女性ということもあり、なかなか夜間パトロールなど参加し辛く感じてしまいます。
- ・とても大切だが、町内会に属さない家庭なども増えており、公平さに欠ける。またパトロールなども子どもは連れてきてはいけないなど、制約があり続けるのが大変。長期的にみんなでまちづくりができるような過剰すぎない取り組みを希望する。

【高齢者への対策に関すること】

- ・高齢化が進んで家を手放し転居する人たちも増えてきつつある中、今度は若いファミリーもポツリポツリと転入。若い人たちが居るだけでも心強いです。高齢者と若いファミリーたちとの交流の場、機会をつくって地域を守っていったらいいですね。
- ・近所、子どもと高齢者などつながりを全体で持つようにする。声がけするだけでも安心につながります。
- ・高齢者が多い町内になったので、街灯の充実、若者や子ども達の協力体制を作ること。呼びかけ運動や見守りを考える。

【子どもの安全に関すること】

- ・子ども達の登下校時に、可能な方は犬の散歩をするようにしたら、大人の目もあって犯罪が起りにくくなるのではないかと思う時があります。
- ・学校からも不審者情報のメールはくるが、保護者同士の情報が一番詳しく分かる。地域の知り合いが増えると、子どもの登下校時の様子を教えてもらうこともあり安心できる。

- ・子ども達の安全が1番に気にかかります。特に放課後の遊びでは不審者が目撃されたこともありましたが、学校からの連絡や先生方が見回りをしてくださったりと積極的に動いてくださりとても助かりました。子どもの登下校も地域の方が見守ってくださっていることを日頃から感じています。しかし、学校や地域の方々に頼ってばかりではいけないと思っています。家庭でもできることをしていきたいと思いました。
- ・小学校の近くに住んでいるので、子ども達にとって安心安全な地域にしていくことの必要性を感じます。その為には、夕方の下校時間に帰る帰宅の遅い子どもへの見守りを地域住民が温かな目で、ながら見守りをすることが大切ではないでしょうか。私は回覧版を見て学校行事や長期休みを確認しています。特別なことではなく、何かあった時に助けたりできる雰囲気地域につくれば、防犯につながると考えます。

【環境整備に関すること】

- ・歩道や歩道の周りの看板や木や草など整備して、視界を良くする。
- ・公園の美化やゴミ集積所の清掃などが地域の防犯につながるのではと思う。
- ・ブロークンウインドウ理論から、まずは町内の清潔を保つことが大事だと思います。
例えば、曜日指定を守らないでゴミを出す人がいると、他に守らない人が増えてきます。管理されていない空き家の窓ガラスが1枚割れると、次々割られたり住み着く人がでたり、治安が悪くなります。
防犯活動も大事ですが、同時に町内のゴミ置き場を綺麗に保つこと、空き家管理、お花を植えることなども効果があると思います。
- ・空き家、ごみ捨てなど、そのようなところから犯罪は増えていくと思うので、地域の環境整備が必要だと思う。

【情報発信や広報に関すること】

- ・ほとんどの人はオンライン講習なら参加できるが、わざわざ現地に行って講習を受けようとは思わない。YouTubeやXを使って防犯のハウツー動画等で流すのもいいと思う。
- ・普段生活する中で、街の危険箇所など（街路樹が車道にはみ出しており危ない等）があったときにどこに連絡すればすぐに対処して頂けるのかが分からないことがあるので、そういった連絡先の周知をもっとして頂けると有り難いです。

- ・防犯活動の内容やモットー等を沢山の人の目に入るように周知してほしいです。防犯活動をして下さる方の存在も今回のアンケートで初めて知りました。子連れでも参加出来るのであれば参加する人も増えるのではないのでしょうか。お年寄りの人でも出来るのか、どんな活動をしているかの理解を深めていけたらと思いました。不審者や交通事故が多発するエリアマップを作成し、学校の掲示板や町内会の回覧板で地域全体での意識を高めていくのはどうでしょうか。
- ・犯罪抑止力となりうるパトロールの強化や SNS を利用した市民からの情報提供の仕組みを充実させること。一方で防犯に対する意識醸成を図るべく、広報等も工夫すべきと思う。
- ・市の取り組みについての情報発信方法が、現状のままではなかなか市民全体に広がりにくい環境になっていると感じます。その為、安全安心街づくりを進めていくにも 6 割以上の市民に伝わっていくか疑問です。
コロナ禍で仙台市の LINE を入れたことから市政に対しての意識が高まりましたが、核家族化が進んでいる昨今、もっと若者が興味を持っているコンテンツ内でのコラボ等（郡市長と TikToker や YouTuber がコラボ等）で市の取り組みに耳がいくようにしていくのはいかがでしょうか？
- ・同じ町内で起こった事件や犯罪またはトラブルなどを共有できる機会があれば良いと思う。SNS などで情報を発信する等。

【意識啓発に関すること】

- ・毎日のようにいろいろな事件、事故を耳にするが、対岸の火事ととらえている。我が身に降りかかった時、どうすれば慌てず対処出来るか不安になる。それには、地域活動に参加や講習会など参加して、地域全体で考える必要がある。
- ・住みよい地域づくりの一環として、住民の積極的参加を促す必要があると思う。歩きたばこや自転車のマナーなど小さなところから、住民が意識をもって取り組んでいくことが、防犯や安全安心なまちづくりに繋がっていくと思う。
- ・防犯や安全安心な街づくりについて自分が出来る事を考えてやっていけたらと思います。
- ・今年、町内の班長としてはじめて防犯パトロールに参加しました。
地域の人々ががんばって安全安心のために気くばり、目くばりしていることを知り感謝です。私も少しは一助となるようお手伝いしたいです。
- ・出来る人が無理なく義務感とかでなく参加出来ればと思います。犬の散歩の方とかついでにできる仕組み。外灯を増やす。空き地や空き家の放置を無くす。